

昭和54年度トヨタ財団研究助成等の募集

昭和54年度トヨタ財団の研究助成および事業助成（国際学術研究集会助成）の公募の案内がきています。

(1) 研究助成

主旨 現代社会が抱えているさまざまな問題の解決に寄与する研究（予備的研究も含む）に対する助成。

対象 「交通安全、生活・自然環境領域」、「社会福祉領域」、「教育・文化領域」および特定課題：「地域社会の変化に関する実証的研究」。

金額と期間 総額2億7,000万円程度。昭和54年10月15日より1年間。

使途 機械・器具・備品費、国内・外の旅費、資料費、研究協力者・補助者謝金その他。

報告の義務 助成期間の中間および終了後に、報告の義務があります。

(2) 事業助成

主旨 日本で開かれる国際的な学術研究集会に、発展

途上国の研究者・専門家が参加する機会を増やすことを目的として、このために必要な渡航費および日本での滞在費の助成。

対象 昭和54年12月1日から昭和55年11月30日までの間に日本で開催される研究集会。

資格 当該学術研究集会の責任者。

金額 約2,000万円。

使途 発展途上国の研究者・専門家が集会に参加するために必要な旅費および滞在費。

報告の義務 事業終了後に、報告の義務があります。

(3) 応募方法

応募者は下記担当理事まで申し込んで下さい。公募期間は、昭和54年4月2日（月）～5月31日（木）です。

記

新田 尚（〒100 東京都千代田区大手町1-3-4
気象庁予報部電計室）

おねがい

日本気象学会事務局

都合により気象学会春の総会に出席できない方は、委任状（「天気」3月号に綴り込み）を必ず提出して下さい。

昭和54年春季大会について

来る春季大会の大会委員長とシンポジウム話題提供者について、次のように決定または変更になりましたのでお知らせします（敬称略）。

大会委員長 末広重二（気象庁）

シンポジウム話題提供者 関口理郎に代って
柳原一夫（気象庁）

また、大会参加費等は前回秋季大会と同じで、会員500円、学生会員300円、一般1,000円、懇親会費1,500円、予稿集1,000円です。大会参加登録、懇親会申し込み、予稿集当日販売は、大会第1会場（気象庁2階講堂）前ロビーで受け付けます。